

第3回会議資料の中の、  
資料2のP. 2 **今後目指すべき教育の姿** の最下段の囲み

(今後の検討事項) 今後考えていくべき教育施策 について

- ・ SDG s を意識した教育活動の充実による豊かな心の育成

の項目をぜひ加えていただければと思います。(学力、健康・体力は1項目目に既述)

今後10年も、デジタル化が進み AI が進化するなど、ますます急激な変化が予想される社会に生きる子どもたちに、「豊かな心の育成」こそが必要だと思います。人の心の痛みがわかる思いやりと感謝の気持ちを忘れず、地域を誇りに思い豊かに存続させることを考える子ども。世界の問題や苦しみを自分事としてとらえ、自分には何ができるのかを考え実践する子どもの育成です。

ちょうど本計画の目標年度2030年は、世界がSDG s 達成を目指す年。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指した17の国際目標ですが、地域の特性や発達段階などに応じて重点化して取り組むこともできます。

只見町は「海洋教育の視点を付加した ESD の取組み」により、地球温暖化を防止するブナ林の役割など地球規模の水の循環を意識し「故郷を大切に思う心は、地球を守る」と考え、8つのSDG s の目標を重点化して取り組んでいます。